

「大学入学共通テスト得点調整の実施条件・方法の改善についての提言」（得点調整検討部会審議のまとめ）

## 別紙「得点調整の実施条件・方法に関する得点調整検討部会の考え方」に関する 補足説明資料

大学入試センター

本資料は標記提言の別紙「得点調整の実施条件・方法に関する得点調整検討部会の考え方」の内容を説明するに当たって、大学入試センターにおいて作成したものです。

図1. 「平均点差」と「段階表示の区分点差」の関係

図2. 得点調整の方法 従来の方法との比較（イメージ）

図3. 令和7年度共通テスト以降の科目構成

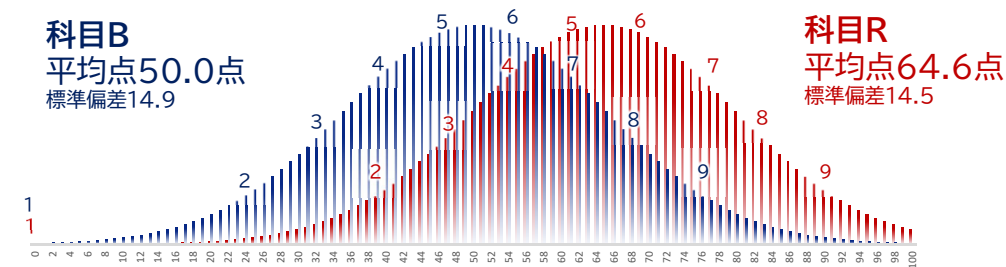
参考 大学入学共通テスト 成績の段階表示（スタナイン）について

# 図1. 「平均点差」と「段階表示の区分点差」の関係

- ・得点分布の形が同じ2科目を比べれば、「平均点差」と「段階表示の区分点差(同段階の得点差)」は同程度となる。
- ・しかし、科目の得点分布の形が異なる場合、「平均点差」と「段階表示の区分点差」に差が生じることがある。

## 両科目の得点分布が同じような形の場合

平均点差が一定範囲に収まると、  
段階表示の区分点差も同程度に収まる



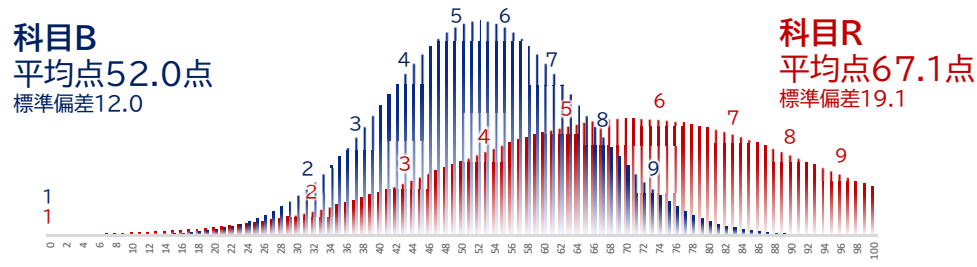
各段階の区分点 (得点範囲の下限値)

	科目B	科目R	区分点差
第9段階(上位4%)	76	90	14
第8段階(11%)	68	83	15
第7段階(23%)	61	76	15
第6段階(40%)	54	69	15
第5段階(60%)	46	61	15
第4段階(77%)	39	54	15
第3段階(89%)	32	47	15
第2段階(96%)	24	39	15
平均点	50.0	64.6	14.6

平均点差14.6点 ≒ 区分点差(最大) 15点

## 両科目の得点分布が大きく異なる形の場合

平均点差が一定範囲に収まっているも、  
段階表示の区分点差が大きくなることもある



各段階の区分点 (得点範囲の下限値)

	科目B	科目R	区分点差
第9段階(上位4%)	73	96	23
第8段階(11%)	67	90	23
第7段階(23%)	61	83	22
第6段階(40%)	55	74	19
第5段階(60%)	49	63	14
第4段階(77%)	43	53	10
第3段階(89%)	37	43	6
第2段階(96%)	31	32	1
平均点	52.0	67.1	15.1

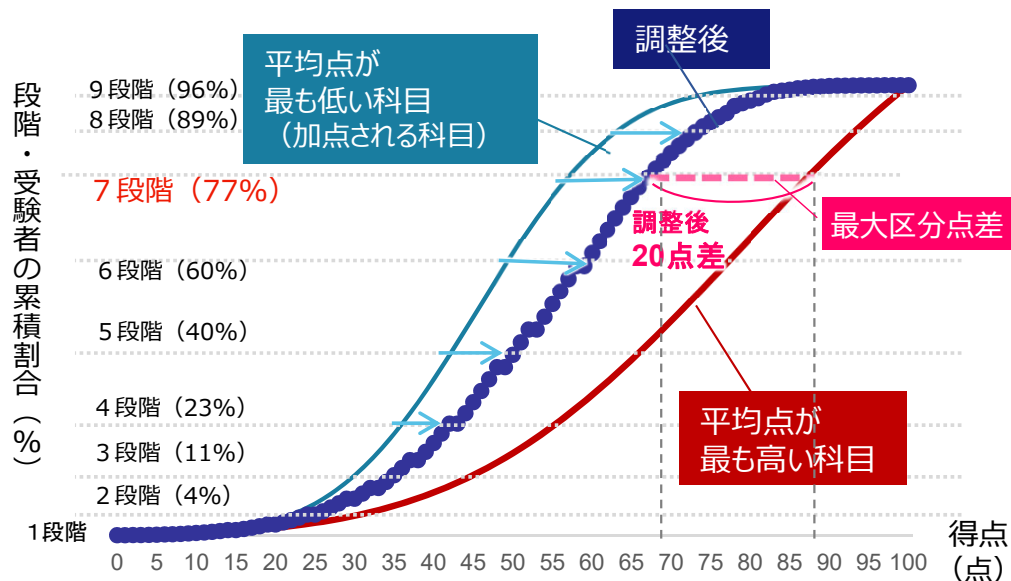
平均点差15.1点 < 区分点差(最大)23点

得点調整検討部会案では、「20点以上の平均点差が生じた場合」に加え、  
「15点以上の平均点差が生じ、かつ、段階表示の区分点差が20点以上生じた場合」も、得点調整の対象に加える

# 図2. 得点調整の方法 従来の方法との比較 (イメージ)

## 従来の調整方法

平均点差が15点となるように、得点を加算する  
(区分点差は、結果的に最大15点より大きい)

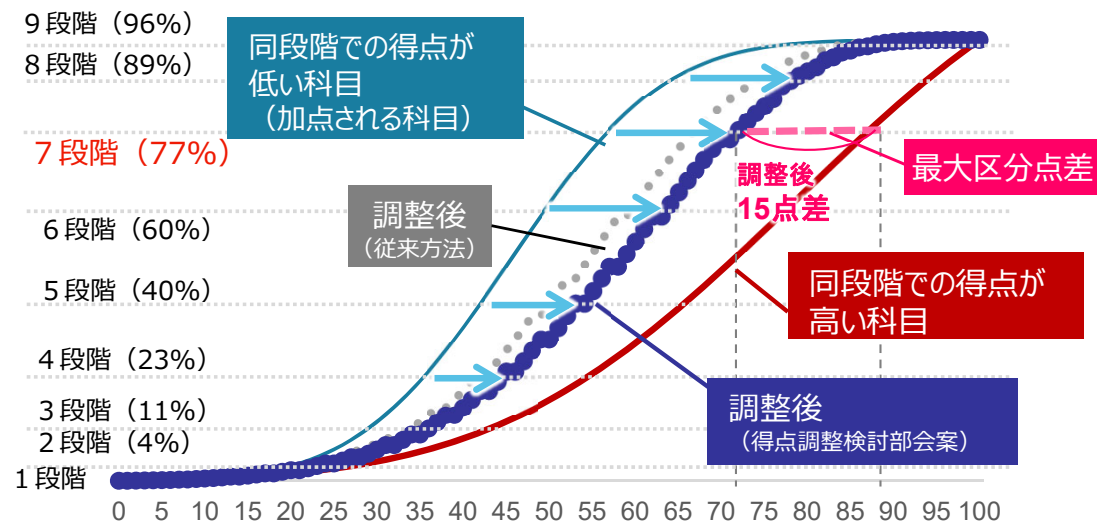


段階	調整前			平均点差15点まで縮小後		
	科目B	科目R	区分点差	科目B 加点後	区分点差	加点幅
第9段階 (累積96%)	70	98	28	79	19	9
第8段階(89%)	63	93	30	73	20	10
第7段階(77%)	56	86	30	66	20	10
第6段階(60%)	50	77	27	60	17	10
第5段階(40%)	42	66	24	50	16	8
第4段階(23%)	36	55	19	41	14	5
第3段階(11%)	29	43	14	33	10	4
第2段階(4%)	22	29	7	23	6	1

平均点差23点→15点 (調整後)

## 得点調整検討部会の提案の方法

区分点差が最大15点になるように、得点を加算する  
(平均点差は、結果的に15点を下回る)



段階	調整前			区分点差15点まで縮小後		
	科目B	科目R	区分点差	科目B 加点後	区分点差	加点幅
第9段階 (累積96%)	70	98	28	84	14	14
第8段階(89%)	63	93	30	78	15	15
第7段階(77%)	56	86	30	71	15	15
第6段階(60%)	50	77	27	63	14	13
第5段階(40%)	42	66	24	52	14	10
第4段階(23%)	36	55	19	44	11	8
第3段階(11%)	29	43	14	35	8	6
第2段階(4%)	22	29	7	25	4	3

平均点差23点差→13点 (調整後)

※この事例では高得点層において区分点差が大きく開いているが、中～低得点層で区分点差が大きく開く場合もある。

### 図3. 令和7年度共通テスト以降の科目構成

科目構成や内容等の変化により、科目間での得点分布の形が大きく変わり、結果として、段階表示の同段階間で大きな得点差が生じる可能性がある。

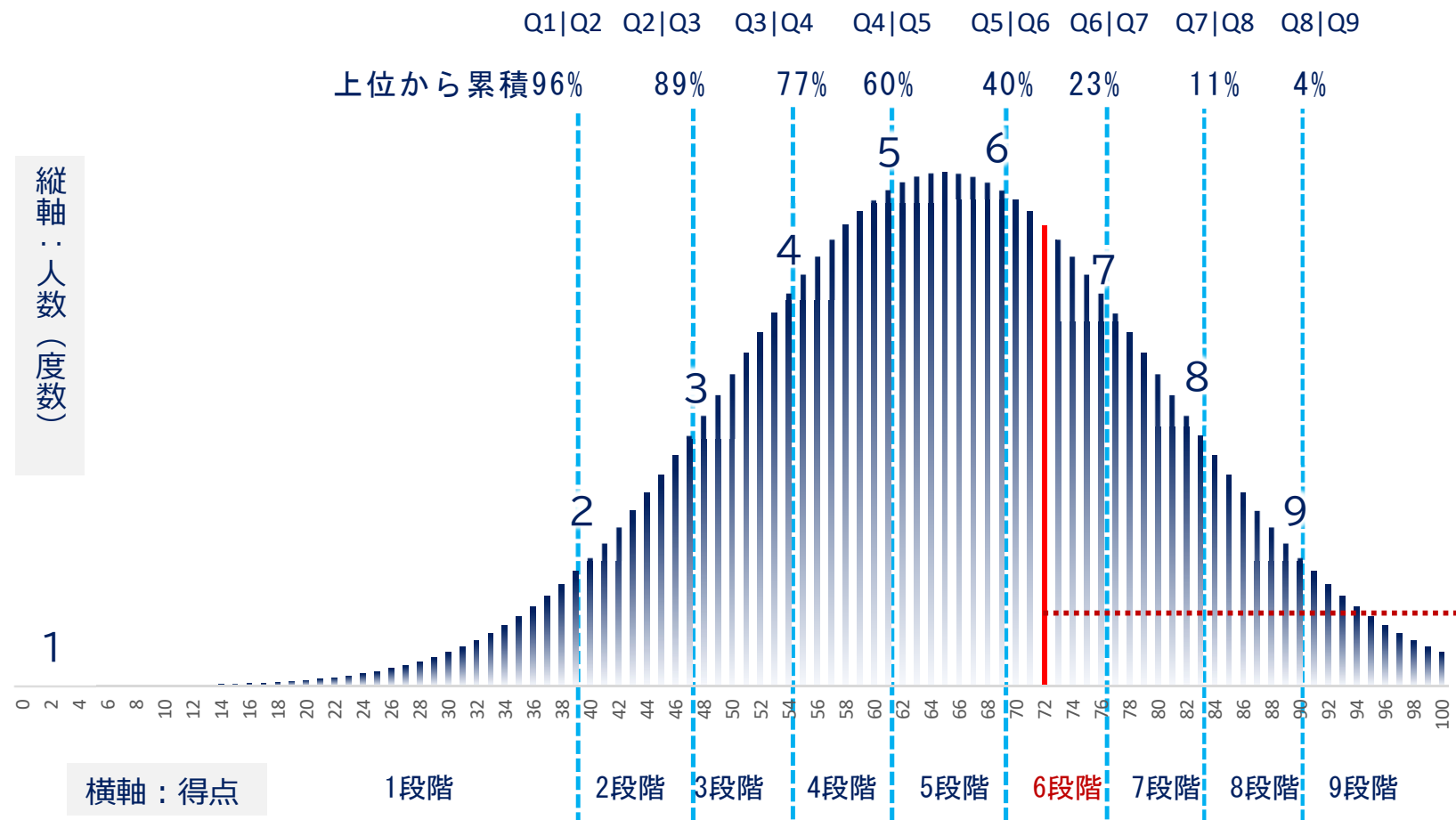
	現行の 得点調整対象科目		新課程における 得点調整対象科目	経過措置科目における 得点調整対象科目 (令和7年度限り)
地理 歴史	『世界史B』 『日本史B』 『地理B』 <b>3科目</b>		『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 世界史探究』 『歴史総合, 日本史探究』	『旧世界史B』 『旧日本史B』 『旧地理B』 <b>6科目</b>
公民	『現代社会』 『倫理』 『政治・経済』 <b>3科目</b>		『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』	『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理, 旧政治・経済』 <b>6科目</b>
数学①	(得点調整なし)		『数学Ⅰ, 数学A』	『旧数学Ⅰ, 旧数学A』
数学②	(得点調整なし)		『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	『旧数学Ⅱ, 旧数学B』
理科	『物理』『化学』『生物』『地学』		『物理』『化学』『生物』『地学』	
情報	(出題なし)		『情報Ⅰ』	『旧情報(仮)』

# 参考 大学入学共通テスト 成績の段階表示（スタナイン）について

- 各大学の入学者受入れ方針に応じた、受験者の多様な評価（方法）に活用できるよう、従来の科目別得点（素点）に加えて、全体における各受験者の位置づけを示すもの（試験後、段階表示換算表を公表。大学への成績提供、受験者への成績通知においても表示。）
- 「科目別得点」における 1 から 9 までの 9 段階として表示
- 平均点や得点分布の形の違いに関わらず、受験者が各科目の受験者の中でどういう位置にいるかがわかる。

段階表示換算表（例）

各段階の点数範囲	
第9段階（上位4%）	<b>90~100</b>
第8段階(11%)	<b>83~89</b>
第7段階(23%)	<b>76~82</b>
第6段階(40%)	<b>69~75</b>
第5段階(60%)	<b>61~68</b>
第4段階(77%)	<b>54~60</b>
第3段階(89%)	<b>47~54</b>
第2段階(96%)	<b>39~46</b>
第1段階(100%)	0~38



例：  
**「72点」**の受験者＝  
 69点（第6段階の下限値）以上  
 76点（第7段階の下限値）未満  
 のため、第6段階